

<年2回決算型・為替ヘッジあり>

第17期末（2026年4月27日）	
基準価額	13,042円
純資産総額	55億円
騰落率	22.9%
分配金	1,600円

<年2回決算型・為替ヘッジなし>

第17期末（2026年4月27日）	
基準価額	14,382円
純資産総額	92億円
騰落率	30.5%
分配金	2,700円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ A I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり) (年2回決算型・為替ヘッジなし)

【愛称】A I 革命 (年2・為替ヘッジあり) / (年2・為替ヘッジなし)
追加型投信／内外／株式

運用報告書(全体版)

作成対象期間:2025年10月28日～2026年4月27日

第17期(決算日 2026年4月27日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり) / (年2回決算型・為替ヘッジなし)」は、このたび第17期の決算を行いました。

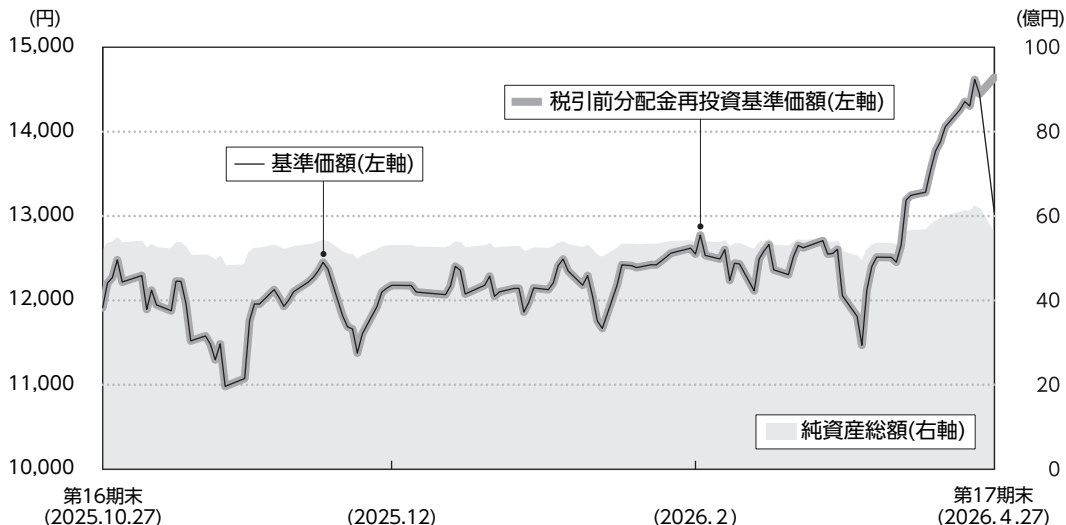
各ファンドは、「TCWファンズⅡ－TCWグローバルA I 株式ファンド(円ヘッジクラス) / (ノンヘッジクラス)」への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にA I (人工知能) 関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2025年10月28日～2026年4月27日

基準価額等の推移



第17期首	11,913円	既払分配金	1,600円
第17期末	13,042円	騰落率（分配金再投資ベース）	22.9%

（注1）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2025年11月下旬から2026年2月下旬にかけて、トランプ米大統領による欧州への追加関税見送りに伴う安心感の広がりや、主要テクノロジー企業の良好な業績動向などを背景に株価が上昇基調で推移したこと
- ・4月上旬から当期末にかけて中東情勢の緩和期待や人工知能（A I）インフラ関連企業の好決算などから株価が反発したこと

<下落要因>

- ・3月中旬から下旬にかけて、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の急騰を受け、世界的なインフレ圧力の高まりや景気悪化への懸念が急速に強まったことなどから株式市場が下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第17期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	80円	0.644%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,349円です。
(投信会社)	(24)	(0.192)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(54)	(0.439)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	80	0.647	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

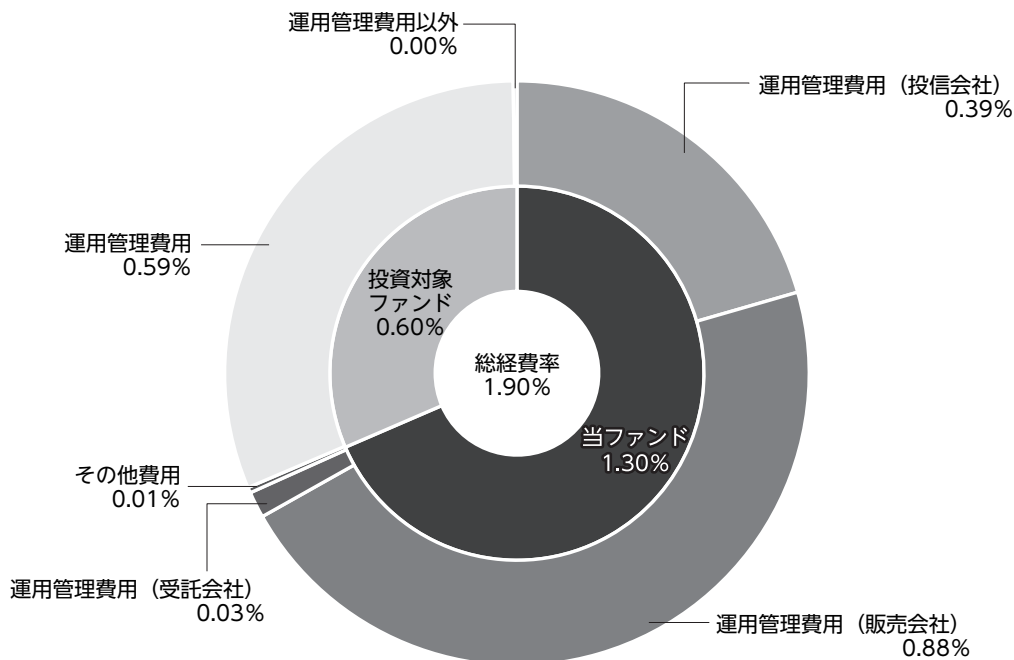
(注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入しています。

(注 4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.90%**です。



総経費率（①＋②＋③）	1.90%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.59%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

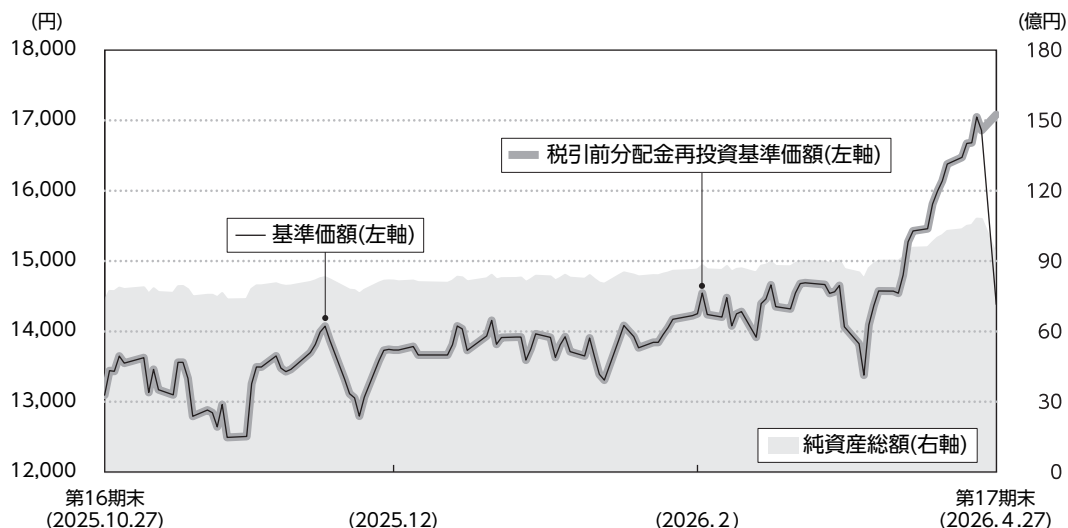
（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第17期首	13,093円	既払分配金	2,700円
第17期末	14,382円	騰落率(分配金再投資ベース)	30.5%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 2025年11月下旬から2026年2月下旬にかけて、トランプ米大統領による欧州への追加関税見送りに伴う安心感の広がりや、主要テクノロジー企業の良好な業績動向などを背景に株価が上昇基調で推移したこと
- ・ 4月上旬から当期末にかけて中東情勢の緩和期待やA I インフラ関連企業の好決算などから株価が反発したこと
- ・ 当期を通じて米ドル高円安が進行したこと

<下落要因>

- ・ 3月中旬から下旬にかけて、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の急騰を受け、世界的なインフレ圧力の高まりや景気悪化への懸念が急速に強まったことなどから株式市場が下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第17期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	90円	0.644%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は14,042円です。
(投信会社)	(27)	(0.192)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(62)	(0.439)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.002	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	91	0.646	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

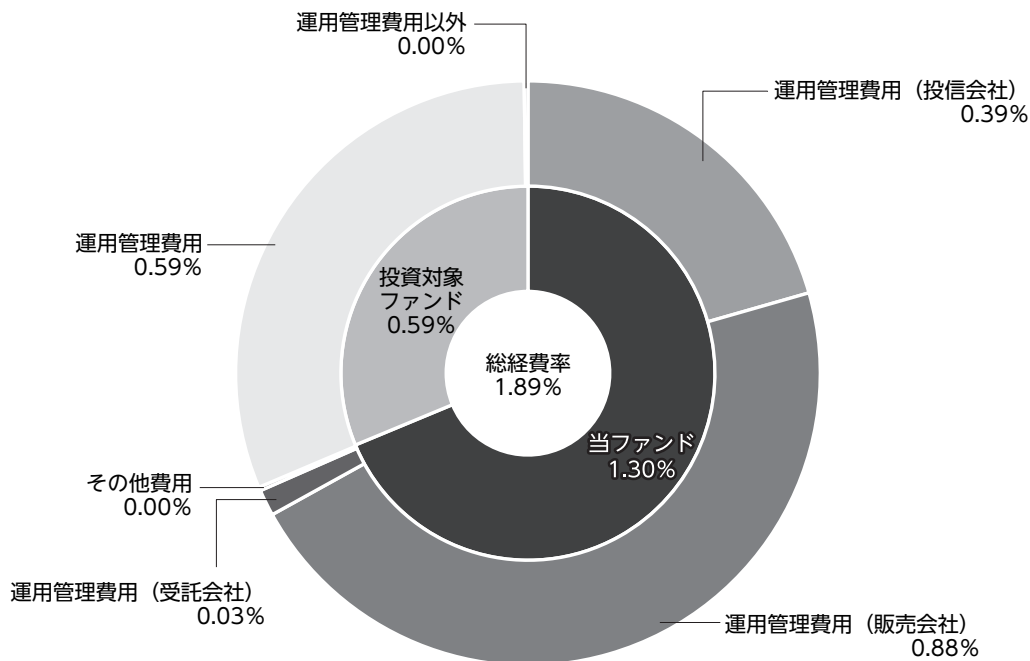
(注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入しています。

(注 4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.89%**です。



総経費率（①＋②＋③）	1.89%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.59%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注 1）①の費用は 1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注 2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注 3）各比率は、年率換算した値です。

（注 4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

（注 5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

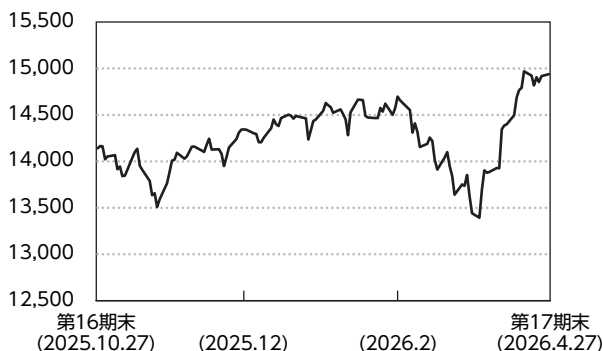
（注 6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注 7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

■株式市況

【MSCIワールド・インデックス (配当込み、米ドルベース)の推移】



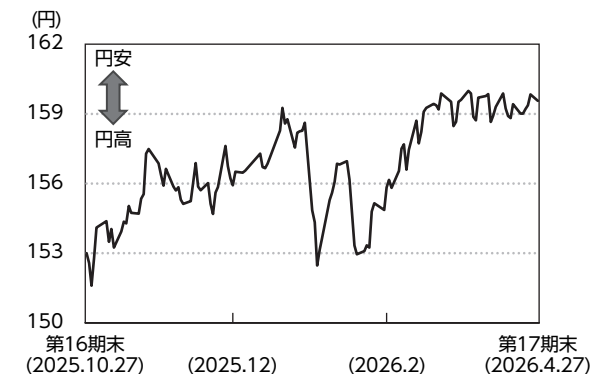
(注) FactSetのデータを使用しています。

当期の株式市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初から11月下旬にかけては、米利下げ観測の後退や、AIバブルへの懸念が強まったことなどから一時下落しました。しかしその後は、トランプ米大統領による欧州への追加関税見送りに伴う安心感の広がりや、主要テクノロジー企業などの良好な業績動向が下支えとなり上昇基調で推移しました。2026年3月には、米国・イスラエルとイランの軍事衝突に伴うホルムズ海峡の事実上の封鎖を受けて原油価格が急騰し、世界的なインフレ圧力の高まりや景気悪化への懸念が急速に強まったことなどから大きく下落しましたが、4月上旬から当期末にかけては中東情勢の緩和期待やAI関連企業の好決算などから株式市場は反発しました。

■為替市況

【米ドル／円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円レートは期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初から11月下旬にかけて、高市政権が財政拡張的な政策に動くとの思惑や米追加利下げ観測の後退を受け、米ドル高円安基調で推移しました。その後12月から1月にかけて、高市政権が衆議院解散を表明し、積極的な財政拡張に対する警戒感から一段と米ドル高円安が進行しました。1月下旬には日米双方でレートチェック（取引状況の照会）が実施されたと報道されると、為替介入への警戒感から米ドル安円高が急速に進みましたが、米財務長官が為替介入を否定し、強い米ドル政策を支持する発言をしたことで米ドルが再び買い戻される展開となりました。その後2月上旬に衆院選で自民党が大勝すると、材料出尽くしから米ドル安円高となりました。2月中旬から当期末にかけてはイラン情勢緊迫化に伴う有事の米ドル買いが進み、米ドル高円安が大幅に進行しました。

ポートフォリオ

■年2回決算型・為替ヘッジあり

TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド（円ヘッジクラス）への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にAⅠ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド（ノンヘッジクラス）への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にAⅠ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）

* TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料（現地における当期末の前営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

徹底した調査・分析に基づき、日本を含む各国の株式の中から、主にAⅠ関連企業の株式に投資を行いました。当ファンドにおけるAⅠ関連企業とは、AⅠに関する製品・サービスを開発・提供する企業やAⅠを活用して事業を展開する企業をさします。なお《円ヘッジクラス》については、組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当期末における業種別配分は、組入比率の高い順に情報技術（71.7%）、資本財・サービス（12.1%）、コミュニケーション・サービス（9.7%）としており、国・地域別配分は、アメリカを85.2%としています。また、カテゴリー別では、AⅠの基礎技術等を提供する企業を70.7%、AⅠを開発・提供する企業を23.2%、AⅠを活用した製品・サービス等を提供する企業を6.1%としています。

（注1）比率はすべて対組入株式等評価額比です。

（注2）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）国・地域はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

■年2回決算型・為替ヘッジあり

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にAⅠ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にAⅠ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■年2回決算型・為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2025年10月28日～2026年4月27日
当期分配金（税引前）	1,600円
対基準価額比率	10.93%
当期の収益	1,600円
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,226円

■年2回決算型・為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2025年10月28日～2026年4月27日
当期分配金（税引前）	2,700円
対基準価額比率	15.81%
当期の収益	2,700円
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,382円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■年2回決算型・為替ヘッジあり

TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド（円ヘッジクラス）への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にAⅠ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド（ノンヘッジクラス）への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にAⅠ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）

米国・イスラエルとイランの軍事衝突を巡る不透明感は強く、今後も原油価格の高止まりが継続した場合、世界の経済成長とインフレに対して大きな影響を与える懸念があります。特に1970年代のようなインフレ加速が金融市場にとって大きなリスクとみられ、市場のボラティリティ（価格変動性）が当面高止まりすると見込まれます。AⅠの進化によるディスラプション（破壊的な変化）、プライベートクレジット（ノンバンク融資）市場をはじめとする一部金融市場の混乱など複合的なリスクも依然として混在しており、激しいセクターローテーション（景気の局面ごとに有望な業種別銘柄群に投資対象を切り替えていく戦略）の動きが続くと想定されます。

当ファンドは、AⅠの必要性を加速させる「人口の高齢化」、「エネルギー効率の向上の必要性」、「利便性の向上、都市化の推進」、「人的資本の生産性を高める必要性」、「景気後退時における事業コストの削減」など、多くの構造的要因からAⅠが情報化社会における基盤技術になると考えており、人間の指図なしにコンピューター自らが学習し進化していくことはあらゆる産業にとって重要な意味を持ちます。

AⅠは幅広い分野に適用可能であることから、世界経済のパラダイムシフト（ある時代・集団を支配する考え方が、非連続的・劇的に変化すること）を起こすテクノロジーであり、生産性向上に大きく貢献すると考えています。また、AⅠが米国における生産性の停滞期を終わらせる可能性が十分にあると考えます。AⅠ技術により生産性が向上することで、1990年代と同様に、企業はより多くの資本集約型プロジェクトへの投資が可能になることから、企業の成長が加速し、収益性の改善に伴い、株価の上昇も予想されます。さらに、AⅠや生成AⅠは、職場における従業員間のスキル差の是正等にもつながると考えています。生成AⅠツールの活用により、スキル不足の従業員が従前はできなかった業務を遂行できるようになり、職場全体のパフォーマンス向上につながる可能性があると考えます。

今後も引き続き、TCWアセット・マネジメント・カンパニーのAⅠ分野における深い技術知識および徹底したファンダメンタル・リサーチ（基礎研究）を通して、継続的に魅力的なAⅠ関連銘柄の発掘に努めています。なお、「円ヘッジクラス」については、組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

ニッセイA I 関連株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第17期末 2026年4月27日
T CWファンズIIーT CWグローバル A I 株式ファンド（円ヘッジクラス）	98.4%
ニッセイマネーマーケット マザーファンド	0.0

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

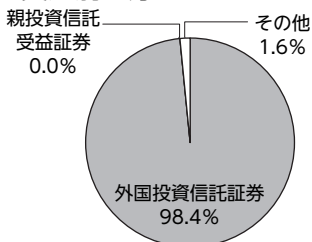
（注2）組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

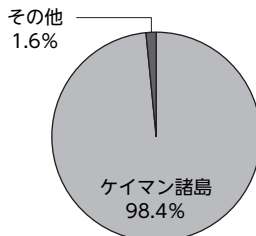
項目	第17期末 2026年4月27日
純資産総額	5,551,263,913円
受益権総口数	4,256,557,143口
1万口当たり基準価額	13,042円

（注）当期間中における追加設定元本額は157,183,110円、同解約元本額は214,058,092円です。

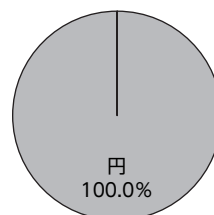
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2026年4月27日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイA I 関連株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第17期末 2026年4月27日
T CWファンズⅡ－T CWグローバル A I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）	98.3%
ニッセイマネーマーケット マザーファンド	0.0

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

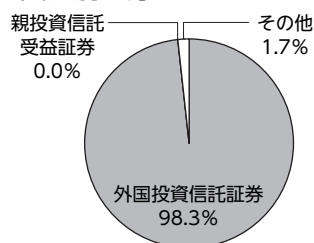
（注2）組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

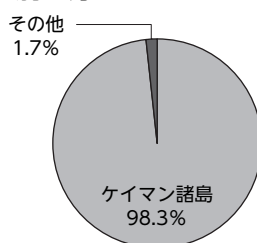
項目	第17期末 2026年4月27日
純資産総額	9,237,766,116円
受益権総口数	6,423,008,643口
1万口当たり基準価額	14,382円

（注）当期間中における追加設定元本額は1,247,332,139円、同解約元本額は390,199,358円です。

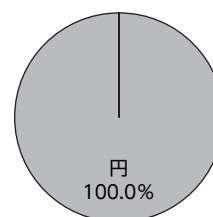
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分

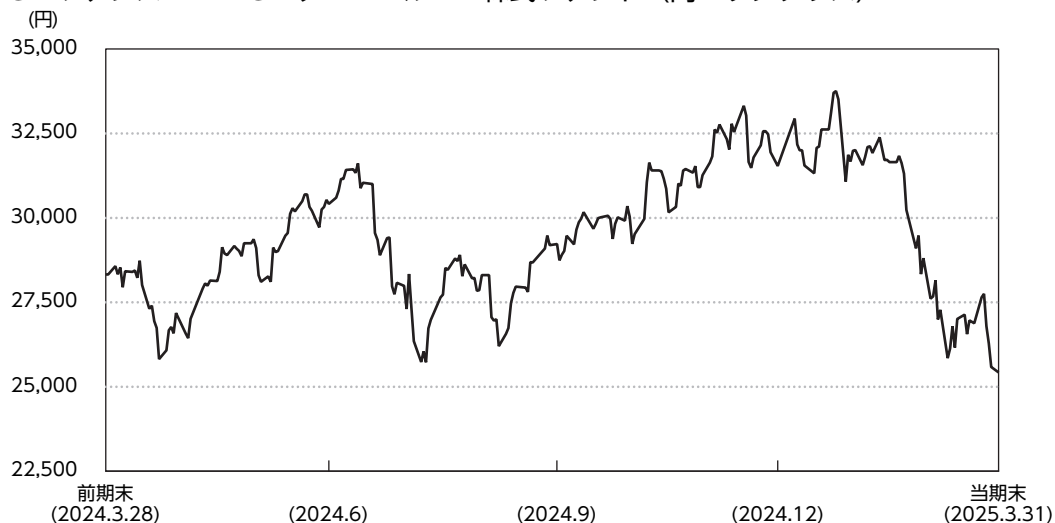


（注）資産別・国別・通貨別配分は、2026年4月27日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

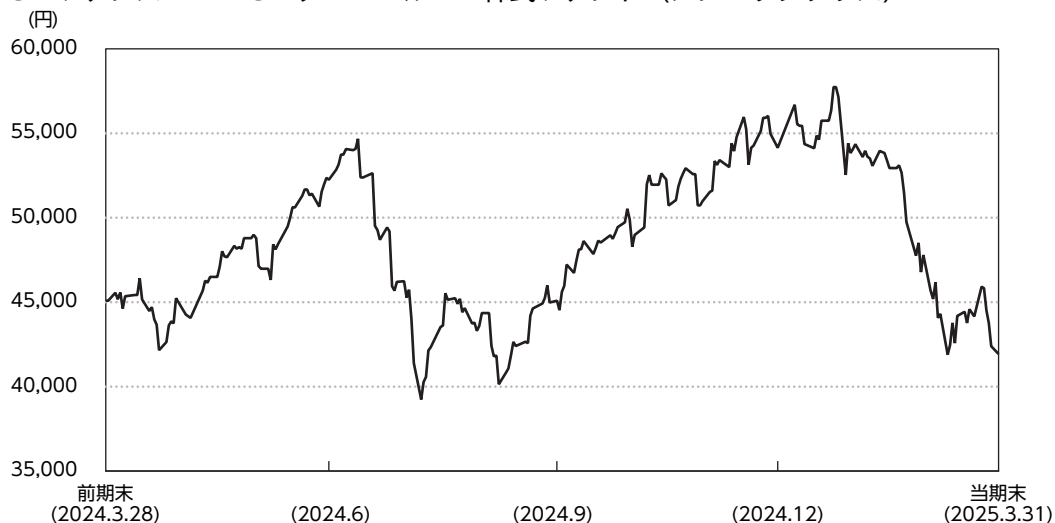
TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）の概要

■ 税引前分配金再投資基準価額の推移

< TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド（円ヘッジクラス） >



< TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド（ノンヘッジクラス） >

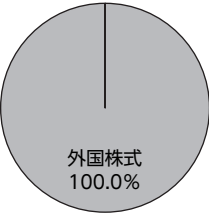


（注） 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

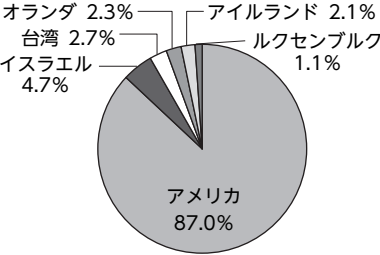
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
NVIDIA Corporation	米ドル	8.6%
Meta Platforms Inc Class A	米ドル	6.0
Amazon.com, Inc.	米ドル	5.8
Arista Networks, Inc.	米ドル	5.6
Palo Alto Networks, Inc.	米ドル	5.4
Alphabet Inc. Class A	米ドル	5.3
Broadcom Inc.	米ドル	4.3
ServiceNow, Inc.	米ドル	4.2
CyberArk Software Ltd.	米ドル	4.1
Micron Technology, Inc.	米ドル	3.9
組入銘柄数		32

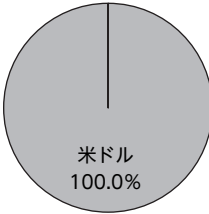
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



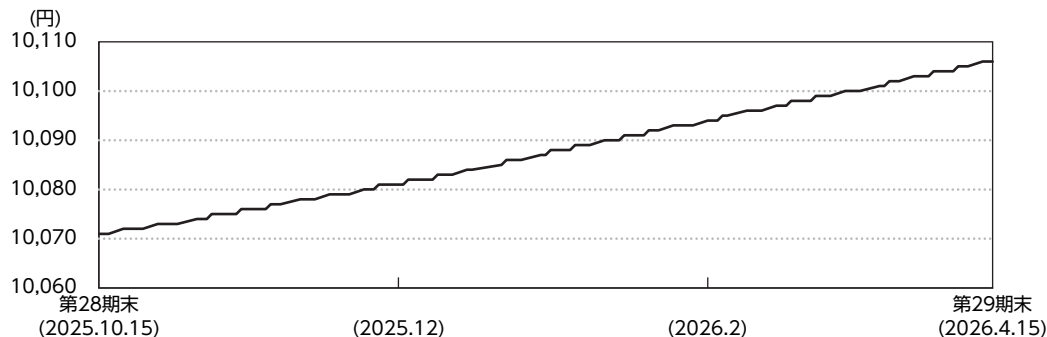
(注1) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2025年3月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の組入株式等に対する評価額の割合です。なお、国別配分はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■基準価額の推移



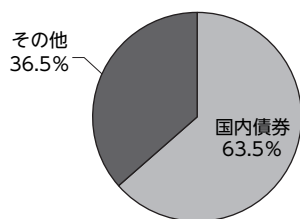
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第1回 東京都公募公債 (東京ソーシャルボンド (5年))	円	10.4%
令和3年度第6回 埼玉県公募公債 (5年)	円	10.4
平成28年度第4回 京都市公募公債	円	6.2
第760回 東京都公募公債	円	6.0
平成28年度第1回 静岡市公募公債	円	6.0
第160回 共同発行市場公募地方債	円	5.7
第291回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	3.8
第158回 共同発行市場公募地方債	円	3.8
第756回 東京都公募公債	円	3.8
平成28年度第5回 愛知県公募公債	円	3.8
組入銘柄数	11	

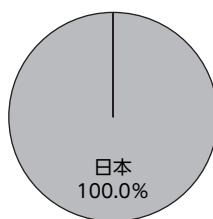
■1万口当たりの費用明細

当期 (2025年10月16日～2026年4月15日) における費用はありません。

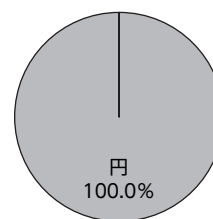
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日 (2026年4月15日現在) のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額 + 累計分配金	TCWファンズⅡ－ TCWグローバル A I 株式ファンド (円ヘッジクラス)	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	%	百万円
13期(2024年 4 月25日)	10,338	300	23.4	17,438	95.6	0.0	5,044
14期(2024年10月25日)	10,822	600	10.5	18,522	98.5	0.0	4,931
15期(2025年 4 月25日)	9,196	0	△15.0	16,896	98.7	0.0	4,175
16期(2025年10月27日)	11,913	1,800	49.1	21,413	98.5	0.0	5,138
17期(2026年 4 月27日)	13,042	1,600	22.9	24,142	98.4	0.0	5,551

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注 2) 「基準価額 + 累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注 3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	TCWファンズⅡ－ TCWグローバル A I 株式ファンド (円ヘッジクラス)	債券 組入比率
	円	%	%	%
(期首)2025年10月27日	11,913	－	98.5	0.0
10月末	12,217	2.6	98.4	0.0
11月末	11,956	0.4	98.8	0.0
12月末	12,097	1.5	99.1	0.0
2026年 1 月末	12,349	3.7	98.9	0.0
2 月末	12,533	5.2	98.9	0.0
3 月末	11,468	△ 3.7	99.5	0.0
(期末)2026年 4 月27日	14,642	22.9	98.4	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2025年10月28日～2026年4月27日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
T C WファンズⅡ－T C Wグローバル A I 株式ファンド（円ヘッジクラス）	1	66,090	18	860,300

(注 1) 金額は受渡代金です。

(注 2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	－	－	－	－

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2025年10月28日～2026年4月27日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2026年4月27日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
T C WファンズⅡ－T C Wグローバル A I 株式ファンド（円ヘッジクラス）	131	114	5,464,686	98.4
合計	131	114	5,464,686	98.4

(注 1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注 2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9	10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は4,748,838千口です。

投資信託財産の構成

2026年4月27日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
T CWファンズⅡ－T CWグローバル A I 株式ファンド（円ヘッジクラス）	5,464,686	87.1
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	806,529	12.9
投資信託財産総額	6,271,225	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年4月27日現在)

項目	当期末
(A) 資 産	6,271,225,967円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	806,529,128
T CWファンズⅡ－T CWグローバル A I 株式ファンド(円ヘッジクラス)(評価額)	5,464,686,762
ニッセイマネーマーケット マザーファンド（評価額）	10,077
(B) 負 債	719,962,054
未 払 収 益 分 配 金	681,049,142
未 払 解 約 金	4,523,918
未 払 信 託 報 酬	34,243,118
そ の 他 未 払 費 用	145,876
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	5,551,263,913
元 本	4,256,557,143
次 期 繰 越 損 益 金	1,294,706,770
(D) 受 益 権 総 口 数	4,256,557,143口
1万口当たり基準価額 (C/D)	13,042円

(注) 期首元本額 4,313,432,125円
期中追加設定元本額 157,183,110円
期中一部解約元本額 214,058,092円

損益の状況

当期（2025年10月28日～2026年4月27日）

項目	当期
(A) 配 当 等 収 益	241,636円
受 取 利 息	241,636
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,190,416,773
売 買 益	1,197,620,806
売 買 損	△ 7,204,033
(C) 信 託 報 酬 等	△ 34,388,994
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,156,269,415
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	465,222,690
(分 配 準 備 積 立 金) (	465,222,690)
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金 *	354,263,807
(配 当 等 相 当 額) (	433,026,482)
(売 買 損 益 相 当 額) (△	78,762,675)
(G) 合 計 (D + E + F)	1,975,755,912
(H) 収 益 分 配 金	△ 681,049,142
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	1,294,706,770
追 加 信 託 差 損 益 金	354,263,807
(配 当 等 相 当 額) (	433,026,482)
(売 買 損 益 相 当 額) (△	78,762,675)
分 配 準 備 積 立 金	940,442,963

(注 1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
(注 2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
(注 3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
(注 4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	234,758円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,156,034,657円
(c) 信託約款に定める収益調整金	433,026,482円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	465,222,690円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	2,054,518,587円
(f) 分配対象額 (1 万口当たり)	4,826.71円
(g) 分配金	681,049,142円
(h) 分配金 (1 万口当たり)	1,600円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額 + 累計分配金	TCWファンズⅡ－ TCWグローバル A I 株式ファンド (ノンヘッジクラス)	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	%	百万円
13期(2024年 4 月25日)	12,444	2,300	31.0	23,644	95.6	0.0	6,142
14期(2024年10月25日)	12,174	1,600	10.7	24,974	98.3	0.0	6,696
15期(2025年 4 月25日)	9,935	0	△18.4	22,735	98.9	0.0	5,732
16期(2025年10月27日)	13,093	3,000	62.0	28,893	98.2	0.0	7,287
17期(2026年 4 月27日)	14,382	2,700	30.5	32,882	98.3	0.0	9,237

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注 2) 「基準価額 + 累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注 3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	TCWファンズⅡ－ TCWグローバル A I 株式ファンド (ノンヘッジクラス)	債券 組入比率
	円	%	%	%
(期首)2025年10月27日	13,093	－	98.2	0.0
10月末	13,548	3.5	98.0	0.0
11月末	13,492	3.0	98.5	0.0
12月末	13,663	4.4	98.8	0.0
2026年 1 月末	13,712	4.7	98.7	0.0
2 月末	14,240	8.8	98.5	0.0
3 月末	13,376	2.2	98.9	0.0
(期末)2026年 4 月27日	17,082	30.5	98.3	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2025年10月28日～2026年4月27日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
T C WファンズⅡ－T C Wグローバル A I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）	15	1,089,080	19	1,676,790

(注 1) 金額は受渡代金です。

(注 2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	－	－	－	－

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2025年10月28日～2026年4月27日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2026年4月27日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
T C WファンズⅡ－T C Wグローバル A I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）	107	103	9,079,046	98.3
合計	107	103	9,079,046	98.3

(注 1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注 2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9	10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は4,748,838千口です。

投資信託財産の構成

2026年4月27日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
T CWファンズⅡ-T CWグローバル A I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）	9,079,046	81.6
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	2,045,631	18.4
投資信託財産総額	11,124,688	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年4月27日現在)

項目	当期末
(A) 資産	11,124,688,372円
コール・ローン等	2,045,631,299
T CWファンズⅡ-T CWグローバル A I 株式ファンド(ノンヘッジクラス)(評価額)	9,079,046,996
ニッセイマネーマーケット マザーファンド（評価額）	10,077
(B) 負債	1,886,922,256
未払金	90,250,000
未払収益分配金	1,734,212,333
未払解約金	7,980,257
未払信託報酬	54,299,739
その他未払費用	179,927
(C) 純資産総額 (A - B)	9,237,766,116
元本	6,423,008,643
次期繰越損益金	2,814,757,473
(D) 受益権総口数	6,423,008,643口
1万口当たり基準価額 (C / D)	14,382円

(注) 期首元本額 5,565,875,862円
 期中追加設定元本額 1,247,332,139円
 期中一部解約元本額 390,199,358円

損益の状況

当期（2025年10月28日～2026年4月27日）

項目	当期
(A) 配当等収益	563,893円
受取利息	563,893
(B) 有価証券売買損益	2,481,126,396
売買益	2,508,977,098
売買損	△ 27,850,702
(C) 信託報酬等	△ 54,479,666
(D) 当期損益金 (A + B + C)	2,427,210,623
(E) 前期繰越損益金 (分配準備積立金)	637,588,838 (637,588,838)
(F) 追加信託差損益金*	1,484,170,345
(配当等相当額)	(1,013,495,598)
(売買損益相当額)	(470,674,747)
(G) 合計 (D + E + F)	4,548,969,806
(H) 収益分配金	△ 1,734,212,333
次期繰越損益金 (G + H)	2,814,757,473
追加信託差損益金	1,484,170,345
(配当等相当額)	(1,013,495,598)
(売買損益相当額)	(470,674,747)
分配準備積立金	1,330,587,128

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	552,997円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,426,657,626円
(c) 信託約款に定める収益調整金	1,484,170,345円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	637,588,838円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	4,548,969,806円
(f) 分配対象額 (1 万口当たり)	7,082.30円
(g) 分配金	1,734,212,333円
(h) 分配金 (1 万口当たり)	2,700円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

お知らせ

■各ファンドの約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

運用者情報

■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ニッセイ A I 関連株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）



https://www.nam.co.jp/fundinfo/naikkf2_a/main.html

■ニッセイ A I 関連株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）



https://www.nam.co.jp/fundinfo/naikkf2_b/main.html

各ファンドの概要

		年2回決算型・為替ヘッジあり	年2回決算型・為替ヘッジなし
商	品	追加型投信／内外／株式	
信	託	2018年1月10日～2044年10月25日	
運		外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式の中から、主にA I（人工知能）関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
		実質組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	実質組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ニッセイ A I 関連株式ファンド	「TCWファンズⅡ－TCWグローバルA I 株式ファンド（円ヘッジクラス）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	「TCWファンズⅡ－TCWグローバルA I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	TCWファンズⅡ－TCWグローバルA I 株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）	日本を含む各国の金融商品取引所に上場している株式	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運		以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分	配	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	

以下は、「T C WファンズⅡ－T C WグローバルAⅠ株式ファンド」（ケイマン籍外国投資信託証券）の2025年3月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書（2024年3月29日～2025年3月31日）

	(円)
収益	
配当収入	663,269,358
利息収入および公正価値を通じて利益または損失が発生する金融資産からの利息	107,233,388
その他収益	96,447
現金及び現金同等物に係る為替実現損益	(111,108,560)
損益を通じて公正価値で測定された金融資産および負債の その他公正価値の変動	(9,753,604,441)
純収益合計	(9,094,113,808)
費用	
受託者報酬および管理事務代行報酬	(107,417,902)
監査報酬	(3,670,064)
管理報酬	(21,745,077)
運用報酬	(824,189,033)
利息費用	(125,522)
その他費用	(2,232,123)
営業費用合計	(959,379,721)
営業利益合計	10,053,493,529
税引前利益	10,053,493,529
源泉徴収税	(183,856,632)
純資産の増減	(10,237,350,161)

(2) 投資有価証券明細表 (2025年3月31日現在)

The TCW Funds II – TCW Global Artificial Intelligence Equity Fund

Stock	Currency	No. of Shares	Market Value (JPY)	Weight (%)
NVIDIA Corporation	USD	665,165	10,780,425,253	8.6%
Meta Platforms Inc Class A	USD	87,970	7,582,034,941	6.0%
Amazon.com, Inc.	USD	257,990	7,340,197,099	5.8%
Arista Networks, Inc.	USD	606,542	7,027,613,166	5.6%
Palo Alto Networks, Inc.	USD	266,230	6,793,525,211	5.4%
Alphabet Inc. Class A	USD	290,782	6,724,294,367	5.3%
Broadcom Inc.	USD	218,132	5,461,475,822	4.3%
ServiceNow, Inc.	USD	44,570	5,306,271,110	4.2%
CyberArk Software Ltd.	USD	102,559	5,183,795,194	4.1%
Micron Technology, Inc.	USD	380,821	4,948,209,094	3.9%
Microsoft Corporation	USD	84,417	4,738,817,355	3.8%
Tesla, Inc.	USD	114,267	4,428,392,979	3.5%
Motorola Solutions, Inc.	USD	61,323	4,014,823,216	3.2%
International Business Machines Corporation	USD	105,766	3,932,867,962	3.1%
Salesforce, Inc.	USD	85,853	3,445,328,332	2.7%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. Sponsored ADR	USD	137,183	3,405,381,253	2.7%
Apple Inc.	USD	102,196	3,394,677,103	2.7%
Marvell Technology, Inc.	USD	366,182	3,371,502,630	2.7%
ASML Holding NV Sponsored ADR	USD	29,813	2,954,160,801	2.3%
Vertiv Holdings Co. Class A	USD	271,924	2,935,905,648	2.3%
Trade Desk, Inc. Class A	USD	334,213	2,734,807,639	2.2%
Eaton Corp. Plc	USD	65,949	2,680,790,998	2.1%
Datadog, Inc. Class A	USD	166,591	2,471,521,209	2.0%
Cognex Corporation	USD	542,223	2,418,736,429	1.9%
Cadence Design Systems, Inc.	USD	53,327	2,028,159,474	1.6%
Deere & Company	USD	27,636	1,939,676,763	1.5%
Lam Research Corporation	USD	161,826	1,759,300,666	1.4%
ON Semiconductor Corporation	USD	253,670	1,543,526,733	1.2%
Symbotic, Inc. Class A	USD	508,336	1,536,294,719	1.2%
Spotify Technology SA	USD	17,112	1,407,487,369	1.1%
Super Micro Computer, Inc.	USD	189,750	971,567,318	0.8%
Mobileye Global, Inc. Class A	USD	360,469	775,955,736	0.6%

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 29 期

(計算期間：2025年10月16日～2026年4月15日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・ 外貨建資産への投資は行いません。



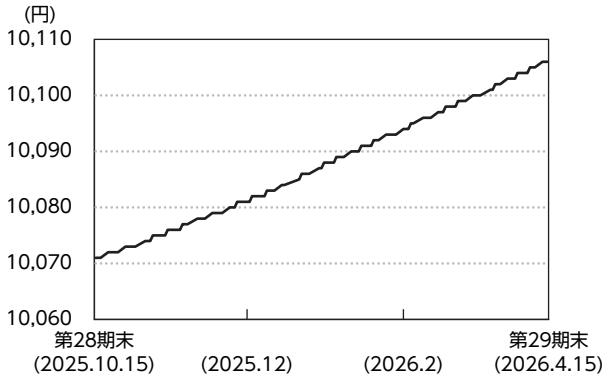
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2025年10月16日～2026年4月15日

基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
25期 (2024年 4 月15日)	10,025	0.0	83.1	1,391
26期 (2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2	1,375
27期 (2025年 4 月15日)	10,043	0.1	73.1	2,007
28期 (2025年10月15日)	10,071	0.3	75.5	2,053
29期 (2026年 4 月15日)	10,106	0.3	63.5	4,800

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年10月15日	10,071	—	75.5
10月末	10,073	0.0	74.8
11月末	10,078	0.1	79.6
12月末	10,084	0.1	70.8
2026年 1 月末	10,091	0.2	68.3
2 月末	10,096	0.2	68.5
3 月末	10,103	0.3	63.3
(期末)2026年 4 月15日	10,106	0.3	63.5

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2025年10月16日～2026年4月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－％	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,088円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年10月16日～2026年4月15日

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	1,865,937	－
	特殊債券	181,642	(557,000)
			－

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2025年10月16日～2026年4月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
			千円
第1回 東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年))	498,120	－	－
令和3年度第6回 埼玉県公募公債(5年)	497,630		
平成28年度第4回 京都市公募公債	298,041		
第760回 東京都公募公債	286,297		
平成28年度第1回 静岡市公募公債	285,848		
第291回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	181,642		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2026年4月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	額面金額	評価額	組入比率	当期末 うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	2,875,000 (2,875,000)	2,868,386 (2,868,386)	59.8 (59.8)	—	—	—	59.8 (59.8)
特殊債券 (除く金融債券)	183,000 (183,000)	182,220 (182,220)	3.8 (3.8)	—	—	—	3.8 (3.8)
合計	3,058,000 (3,058,000)	3,050,606 (3,050,606)	63.5 (63.5)	—	—	—	63.5 (63.5)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第756回 東京都公募公債	0.0500	2026/ 6 /19	182,000	181,821
	第760回 東京都公募公債	0.0450	2026/ 9 /18	288,000	287,005
	第1回 東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年))	0.0050	2026/ 6 /19	500,000	499,305
	平成28年度第5回 愛知県公募公債	0.0700	2026/ 6 /29	182,000	181,792
	平成28年度第1回 広島県公募公債	0.0800	2026/ 5 /25	181,000	180,885
	令和3年度第6回 埼玉県公募公債(5年)	0.0050	2026/ 7 /28	500,000	498,853
	第158回 共同発行市場公募地方債	0.0800	2026/ 5 /25	182,000	181,883
	第160回 共同発行市場公募地方債	0.0500	2026/ 7 /24	272,000	271,516
	平成28年度第1回 静岡市公募公債	0.0600	2026/11/25	288,000	286,561
	平成28年度第4回 京都市公募公債	0.0700	2026/10/23	300,000	298,760
	小計	—	—	—	2,868,386
特殊債券 (除く金融債券)	第291回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.0050	2026/10/30	183,000	182,220
	小計	—	—	—	182,220
	合計	—	—	—	3,050,606

投資信託財産の構成

2026年4月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	3,050,606	63.3
コール・ローン等、その他	1,766,379	36.7
投資信託財産総額	4,816,986	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年4月15日現在)

項目	当期末
(A)資産	4,816,986,155円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,766,041,463
公 社 債 (評価額)	3,050,606,642
未 収 利 息	284,533
前 払 費 用	53,517
(B)負債	16,465,227
未 払 解 約 金	16,465,227
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	4,800,520,928
元 本	4,750,142,861
次 期 繰 越 損 益 金	50,378,067
(D)受 益 権 総 口 数	4,750,142,861口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,106円

- (注1) 期首元本額 2,038,753,014円
 期中追加設定元本額 3,167,158,192円
 期中一部解約元本額 455,768,345円

- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス (毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド (適格機関投資家限定)	49,754,738円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
J P X日経400アクティブ・オープンミドル投資型	9,976円
J P X日経400アクティブ・プレミアム・オープン (毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (年2回決算型)	9,974円
ニッセイA I 関連株式ファンド (為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (資産成長型)	9,968円
D Cニッセイターゲットデットファンド2035	466,742,032円
D Cニッセイターゲットデットファンド2025	2,683,450,997円
ニッセイ/コムジスト新興国成長株ファンド (資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジスト新興国成長株ファンド (年2回決算型)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
D Cニッセイターゲットデットファンド2030	1,549,776,508円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (資産成長型)	9,972円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2023-02 (為替ヘッジあり・既定創価型)	9,974円
既定創価型・最上乗額新ニッセイ世界ノリ・株式厳選ファンド2023-07 (為替ヘッジあり)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (資産成長型)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (毎月決算型)	9,975円
ニッセイS & P 500リカバリー戦略株式ファンド	9,973円
ニッセイ・インド中小型株式ファンド	9,969円
ニッセイ・インド株式ファンド<購入・換金手数料なし>	9,964円
ニッセイ・インド株式オープン (資産成長型)	9,939円
ニッセイ・インド株式オープン (3ヵ月決算型)	9,939円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2025-09 (為替ヘッジなし・既定創価型)	9,934円
ニッセイ米国株式ブースト戦略ファンド (毎月決算・予想分配金提示型)	9,910円
ニッセイ米国株式ブースト戦略ファンド<為替リスク限定> (毎月決算・予想分配金提示型)	9,910円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2026-03 (為替ヘッジなし・既定創価型)	9,901円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期 (2025年10月16日～2026年4月15日)

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	4,472,125円
受 取 利 息	4,472,125
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	8,863,414
売 買 益	8,863,414
(C)当 期 損 益 金 (A + B)	13,335,539
(D)前 期 繰 越 損 益 金	14,433,829
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	26,792,804
(F)解 約 差 損 益 金	△ 4,184,105
(G)合 計 (C + D + E + F)	50,378,067
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	50,378,067

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

- (注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

- (注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。